

1 本年度の取り組み

学習指導	<p>①「総工ベーシック」を授業前に実施し基礎力育成の学習環境を整えた。</p> <p>②退学者は、10名以下に抑えることができた。退学者を出したが学力不振が理由ではなかった。</p> <p>③基礎学力テストを年3回実施し、学力分析会を1回実施し職員会議等でも報告し職員の共通理解を深めることができた。</p> <p>④工業科が中心となり資格取得への意欲を高める指導を組織的に行った。電気関係では、第一種電気工事士の合格者を出せた。</p> <p>⑤普通科会を6回行い組織的・横断的な学習指導体制を作った。学力取り組み向上シートを3回以上作成した。</p> <p>⑥教員相互の授業参観を研究授業その他で3回行った。授業力向上のための若手教員育成に係る指導・助言を行った。</p> <p>⑦アクティブ・ラーニング型授業展開を目指し、各科目に適した授業形態を引き続き研究した。</p> <p>⑧夏期休業期間を中心に25講座以上の講座を開催した。受講生徒数は、延べ人数で相当数いたが偏りが出てしまった。</p> <p>⑨夏期休業中を活用して技能系の国家資格の取得を推進し19名の合格者を出した。</p> <p>⑩授業前の時間や放課後の補習を通じて各種検定試験の勉強会を実施した。</p> <p>⑪国語科が中心となり引き続き未読率0%を達成した。蔵書の充実を行った。</p> <p>⑫選挙や投票に対して自分の意見を持った責任ある行動のとれる有権者教育を推進した。</p> <p>⑬オリ・パラ教育の講演会をとおしてあきらめない気持ちを持った生徒の育成に努めた。</p> <p>⑭校内教員研修や郊外での研修会を実施し、授業づくりの取り組みを行った。</p>
生活指導	<p>①特別指導15件以内となった。生徒の規律意識を持たせた。</p> <p>②生徒情報交換会を4回行い、生徒情報の共有化に努めた。生徒情報の観点を改定した。また、特別支援教育講演会を2回開催し生徒理解の向上を図った。</p> <p>③スマホについて生徒の意識向上が見られた。チャイム始業を徹底し授業規律の向上に努めた。</p> <p>④美化日を年3回行い校内美化体制の確立と校内美化に努めた。生徒の帰属意識を高めることができた。</p> <p>⑤交通安全教室1回を開催した。交通事故防止の啓発活動を行っていく。</p> <p>⑥情報モラル教育と振り込め詐欺についてのセーフティ教室を開催した。携帯電話の使用やネットトラブル等の不適切な使用は、行われなかった。</p> <p>⑦薬物乱用教室を実施した。薬物乱用事故は0件であった。</p> <p>⑧生命尊重に立った人権教育の充実を図り、いじめによる不登校及び中途退学は発生していない。家庭にも呼びかけ啓発活動を行った。</p> <p>⑨校内研修を5回行い、体罰事故は発生していない。</p> <p>⑩生徒情報交換会4回や特別支援教育講演会2回を行い、職員の共通理解と知識を深めることができた。</p> <p>⑪登校時の立ち番の実施や、声掛けを合わせて実施した。4年生以外は、減少傾向にある。</p>
進路指導	<p>①三年生向け進路ガイダンス5回、四年生向け進路ガイダンス3回、面接指導1回、キャリアガイダンス3回を行った。進学希望者には、個別に大学や職業能力開発センターへ訪問を行った。3年間は、退職、退学しない進路指導を実践している。</p> <p>②東京都三種公務員試験に合格者を出し、大学へ進学者を出すなど進路決定率100%を達成した。</p>

	<p>③就職後の仕事を想定した資格取得を行わせ、3年後の離職率を低減させるような就職先の斡旋を方針とし就職希望者 100%内定を達成した。</p> <p>④各学年で卒業後の進路活動を視野に入れ個別面談を 3 回実施した。</p> <p>⑤進路のしおりの改訂版を作成し、生徒に配布し個別面談等で活用した。</p> <p>⑥面接指導会や職安とも連携した面接指導を行った。</p>
特別活動・部活動	<p>①部活動加入率 100%である。今後は部活動への参加率向上が課題である。</p> <p>②生徒の満足度は、80%を超えている。今後も生徒が登校したいと思える学校を作る。</p> <p>③「ものづくり教室」、「せたがや産業フェスタ」に参加し、地域連携を行い、多くの生徒が参加した。</p> <p>④特別活動・部活動を通して礼節ある生徒の育成に努めた。始業式、終業式の校歌指導を行い、愛校心の醸成に努めた。登校時の立ち番指導を実施した。</p>
健康・安全	<p>①安全指導に関する研修を 3 回行った。避難訓練や各種の安全教室等により、生徒が安全・安心な学校生活を送れるように行事等を通じて指導を行った。</p> <p>②健康指導について、健康診断等や文化祭等の行事を活用し、養護教諭を中心に啓発や個別指導を行った。</p> <p>③学校給食でオリ・パラ教育の一環として各国の料理を取り入れ、日本各地の料理を取り入れ生徒に食の多様性を学習させた。アレルギーなどの給食事故は 0 件である。</p> <p>④生徒の安全確保の観点から施設・設備の点検を 3 回行った。</p> <p>⑤全日制との共同防災訓練 1 回を実施し、避難訓練を 4 回実施した。</p> <p>⑥体力テストの結果は、都・全国の平均点値には、及ばなかった。引き続き生徒の体力向上に努める。</p> <p>⑦生徒のきめ細かい観察や、面談、生徒情報交換会等を活用し自殺の未然防止の体制を構築している。</p>
募集・広報活動	<p>①学校広報活動のために、中学生対象に PR 新聞を 3 号作成した。入学者の定員には達していない。</p> <p>②中学校延べ 200 校、教育委員会 15 カ所、学習塾 5 か所の訪問を行った。今後は戦略的な広報活動の展開を行っていく。</p> <p>③ホームページ更新を年間 50 回行った。</p> <p>④ものづくり教室参加者は 15 名を超えた。</p>
学校経営・組織体制	<p>①重要課題取り組みシートを 3 回作成し見える化に向けて、鋭意努力している。</p> <p>②主任教諭育成プログラムを実践し、主幹教諭 1 名、主任教諭選考 2 名を誕生させることができた。</p> <p>③個人情報紛失事故 0 件である。クリーンデスクの徹底をおこなった。</p> <p>④教職員が一丸となって学校経営計画の実現に向けた努力を行った。</p> <p>⑤現物照合リストの整備・更新、学校徴収金の適正執行、文書保存の一元化を行った。</p> <p>⑥全定 LAN 委員会の活用によりネットワーク環境についての問題点を共有化した。</p> <p>⑦自己申告面接 3 回を実施し学校経営計画の実現に向けた問題意識を持ち、行動することができた。</p> <p>⑧定時制課程では服務事故 0 件であった。校内研修を年 3 回実施した。事故を起こさない啓発をこまめに発信した。</p> <p>⑨主幹教諭を中心とした組織づくりが有効に機能した。企画調整会議での活発な意見交換が、今後の課題である。</p> <p>⑩⑪主幹会議 10 回を行った。</p> <p>⑫企画調整会議及び、職員会議を最長で 45 分 1 回、通常は 30 分以内で終了させた。</p>

2 重要課題への取り組み

(1)教務部	
課題	①生徒の基礎・基本的学力の定着【1-1】 ②授業力向上のための相互授業参観の実施【1-6】 ③ホームページによる情報発信の充実【6-3】
取組と評価	①全校生徒の50%を夏期講習に参加させる。総工定ベーシックの当初の参加人数を1年間キープする。 ②教員間の校内授業参観期間を年に3回設ける。 ③1学期までに、他校のホームページの情報を収集し、それらを参考に本校ホームページの一層の魅力化を図る。週に1度の更新を目標に、行事や授業の様子をアップするなど常に情報を新しくしていく。生徒にアンケートやコメント収集をし、生徒の生の声を取り込んでいく。
(2)生活指導部	
課題	①全教員で協力の下で、遅刻防止、授業中のスマホ使用防止、行事欠席の防止に取り組む。 ②学校外での生活指導の問題を0件にする。
取組と評価	①今年度より当番を全教員に割り振り、登校時の立ち番、給食当番、授業中の見回り当番について分担する。生徒の問題行動があった場合は注意を促す。担任教諭との連携も図り、情報が一部に留まらないように生活指導部が保健相談委員会と連携の下で全体に情報提供を促す。生活指導部は、生徒の問題行動を感じた担当者からの意見を聞き取り、その都度、適切な生徒指導を心掛ける。 ②生徒による特殊詐欺事件の防止を目的に、SNS教室でネット上の知らない人とつながることの怖さを伝える。交通事故の防止を目的に、交通安全教室を実施し、二輪車に乗る心構えを再確認する。
(3)進路指導部	
課題	①5年連続進路決定率100%
取組と評価	①就職・進学希望者とも、12月までに、担任と協力して進路を決める。平成30年度キャリア指導計画に基づき、部員や担任が一致協力して実施する。 進路指導部教員間で、本年度テーマの「チームワーク」での取り組みを重視して、「和」（他者を思いやれる小集団）を作り上げ、効率の良い外部から見える体制を作る。毎日、打ち合わせ前または後に、スタンディングミーティングを実施する。各教員に積極的に提案・発言させ、毎日の業務内容の確認、明確化、情報交換、協力体制等、集団の一員の意識を高めて本校のテーマ「チームワーク指導」に取り組む。
(4)工業部	
課題	①工業系資格取得者60%以上(30名) ②地域活動への生徒参加率100%
取組と評価	①技能スタンダードによる、資格取得の推進、放課後や長期休業期間を利用して各種講習の実施。外部の技術講習に進路希望に応じて取得。 ②地域と連携した体験活動の推進、近隣小学校へのPR活動、「ものづくり教室」の資料配布など「せたがや産業フェスタ」の出展により、地域への貢献と社会性の向上を図る
(5)学年	
課題	①生活習慣の確立、遅刻・欠席、各5回以内 ②授業規律の徹底、遅刻・中抜け・欠席・忘れ物・スマホ使用注意、5回以内
取組と評価	①年間を通じて16時30分登校を義務付け、30分間の学習時間を設けることで遅刻・欠席を防ぐ。17時～全員で食堂へ行き給食を食べることで、生活のリズムをつくる。給食後、17時40分にSHRを行うことで、17時45分からの授業準備をさせる。 ②年間を通して空き時間を利用し、生活指導部と連携して見回りを行う。

3 評価と課題

評価	<p>①教務部：総工定ベーシックの定着が進んでいる。HP の更新は、昨年度の大幅改定した分が減少した。内容の更新は、昨年度並みに推移している。</p> <p>②生活指導部：授業中の見回りにより生徒の意識が変化した。外部からの苦情や事件・事故の情報は、0 件であった。</p> <p>③進路指導部：5 年連続進路決定率 100%を達成した。チームで進路指導を行うことができたからである。</p> <p>④工業部：電気工事士は、第二種 3 名の合格者を出した。将来、何をするのかを持っていると、合格する割合が多くなるようである。</p> <p>⑤学年：1, 2 年は、遅刻、欠席が低減している。授業中の見回りが授業規律を保っている。</p>
課題	<p>①生徒の意欲を持続すると同時にどのように参加人数を増やしていくのかを検討する必要がある。HP に掲載の写真の工夫等。</p> <p>②授業中の見回りといった外形力ではなく、授業の力でひきつける努力も必要である。事件・事故は、今後も行事や HR など啓発する必要がある。</p> <p>③1 年生からの進路ガイダンスで 4 年間をかけて、仕事に必要な資格取得をさせるといったことが 100%を支えている。組織的に継続することが中期目標である。</p> <p>④進路指導部と連携し、将来の職業選択を見据えた資格取得が生徒の意欲を高めることになる。</p> <p>⑤しっかりやりたい気持ちを持っているので、言下に注意することも大切であるが、気持ちを引き出す工夫も大切である。</p>